

ありたい自分であるために
たしかなこと
～大切なひとに届けませんか？～



医療法人綾正会 かわべクリニック
看護師 川邊綾香
院長 川邊正和
エンドオブライフ・ケア協会 ファシリテーター
2023年2月8日

たしかなこと

いちばん大切なことは
特別なことではなく
ありふれた日々の中で 君を
今の気持ちのままで 見つめていること

君にまだ
言葉にして 伝えてないことがあるんだ
それは ずっと出会った日から
君を愛しているということ



看護師：川邊綾香

- * 内科・外科病棟所属（6年間）
呼吸器内科・外科・消化器内科病棟
- * 救急外来・病棟所属（4年間）

院長：川邊正和

- * 大阪市出身。福井大学医学部卒
- * 福井大学付属病院 第二外科（2年間）
- * 大阪赤十字病院 呼吸器外科（13年間）

2011年 東日本大震災（発災4日後）

山田町（岩手県）にて救援活動

2015年 かわベクリニック開業

祖父の思い

- 病院はあまり通いたくない。
- 延命治療はいらない。
- 家で穏やかに過ごしたい。
- 迷惑かけたくない。

祖父の状況

持病：心筋梗塞、不整脈
大病院に3ヶ月に1度
循環器内科に通院

食欲が低下
寝ている時間も長くなる

病院に到着してすぐの心停止。
かかりつけ医がいる病院で亡くなっていない。

この場合
警察のお世話になることを初めて知りました。
病院に警察が来て、
「事件性がないか自宅を調べたい」
と言われました。



なぜ、祖父が救急搬送されるに至ったのか？
なぜ、望まない治療を受けなければならな
かったのか？

を考えました。

- ✓ 家族だけでなんとかかなると思っていた。
- ✓ ケアマネージャー、訪問看護師など相談できる人が身近にいなかった。
- ✓ かかりつけ病院があれば良いと思っていた。
(自宅の近くのかかりつけ医がなかった)
- ✓ 最期まで診てくれる在宅医と繋がっていなかった。
(24時間、365日対応してくれる医師)

祖父の死から10年後

祖母の思い

- 認知症のため判断能力の低下。
 - 延命治療はいらぬ。
 - 点滴は嫌。
 - 自然な形がいい。
 - 家で穏やかに過ごしたい。
 - 迷惑かけたくない。
- なぜ、祖母は『ありたい自分』で祖父の元へ逝けたのか？



アドバンスケアプランニング (ACP / 人生会議) ～ありたい自分であるために～



万が一のときに備えて、
あなたの大切にしていることや望み、
どのような医療やケアを望んでいるかについて、
自分自身で考えたり、あなたの信頼する人たち
と話し合ったりすること。



もしもの時に
あなたの信頼する人があなたの代わりに
治療やケアについて難しい決断をする場合に
重要な助けとなります。

「できる限りのことをしてあげたい」 と家族は思う

本人（自分）が
してほしい
と思うこと



家族の
してあげたい
と思うこと

思いは伝えないと実現しない



話し合いついていつやるの？

健康な時



意思表示

地域、家族

病気になった時



意思決定

医療・介護関係者、家族

最終段階を
意識する時



意思実現

時期により話し合う内容や気持ちは変わる⇒**何度も必要**

その時の気持ちを聴き、実現に向け**地域**で関わる

**関わる地域スタッフ（多職種）で
本人の思いを共有**

- ◆ 受けない医療の希望
- ◆ 希望する療養場所
- ◆ 気がかりな事
- ◆ 不安な事（現在、今後）
- ◆ 自分が大切にしたい事（穏やかになれるもの）



かわベクリニック
ホームページ 二次元コード



東大阪プロジェクト
YouTube 二次元コード

ご清聴ありがとうございました。

今日のお話は
YouTube動画で再視聴できます！
東大阪プロジェクト
チャンネル登録をお願いします